

議 事 録

日 時	2013年8月13日(火) 午前9:00	場所	戸塚区役所 8階 大会議室
出席者	戸塚区連合町内会自治会連絡会副会長 相澤 稔 戸塚区体育協会顧問 石井 昇 明治学院大学 中原 美香 戸塚区納税貯蓄組合副会長 高橋 愛子 戸塚区PTA連絡協議会会長 三浦 亜由美		
開催形態	公開(傍聴者5人)		
議 題	横浜市戸塚区地区センター指定管理者選定委員会(第2回) ・踊場地区センター指定管理者の選定について		
議 事	・指定管理応募者への面接審査 ・委員から応募者への質疑 ・協議及び評点 ・結果確認		
決定事項	・面接審査 公開により実施(傍聴者5名) 申請順にとつて区民活動支援協会、横浜YMCAの順に行った。 面接審査及び評点の結果、 第1位優先交渉権者は 公益財団法人横浜YMCA(理事長 山田尚典) 所在地:横浜市中区常盤町1丁目7番地 【評点:627点】 第2位優先交渉権者は 公益社団法人とつか区民活動支援協会(理事長 金子正治) 所在地:横浜市戸塚区上倉田町449 【評点:520点】		
議 事	【面接審査】 公益社団法人 とつか区民活動支援協会 (委員) 中高生、一般男性の利用が少ない。利用者が少ないから自主事業のメニューも少ないのか。 (協会) ロビーや図書コーナーに訪れる中高生は多いが、部活動や仕事等があるので自主事業には参加しづらいと思う。 (委員) 災害発生時の費用負担はどのように考えられているか。 (協会) 停電時のランタンやポリタンクなど、事務費消耗品で対応する。 (委員) 職員の教育はどのように行うのか。 (協会) OJT・業務を通じて教育する。 【協議】 地域のことに限っては、我々より詳しいくらいだ。 地区センターは保護者が居ても、児童は5時に帰らねばならない。トップはどう考えているのだろうか。 (協会が管理する)舞岡地区センターはよく知っているが、舞岡でやっていないことが踊場で出来るのだろうか。		

【面接審査】

公益財団法人 横浜YMCA

(委員) 副館長などのスタッフ体制は？

(YMCA) 副館長はおいていない、常勤スタッフが対応する。利用者の入れ替わり時間はスタッフを増やして対応している。

(委員) 新規対象者はどのような年齢層か？

(YMCA) 高齢者を対象に、気軽にくつろげるカフェのようなものをめざしたい。また30-40代の利用者を増やすため親子交流や土日でも出かけてみたいと思われるような魅力ある自主事業を目指したい。

(委員) 世代間の交流は提案書にはなかったが、ぜひ努めて実行していただきたい。

【協議】

提案書は両者ともに似ている点も多いが、YMCAの交流サロンのアイデアは素晴らしい。

地域のニーズに対応している。

子育て世代、高齢者世代への対応を考えているという気がする。

パブリックビューイングでの深夜の開放など地元のニーズをとらえている。